

日高村 2050 ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により台風の巨大化、集中豪雨などの自然災害が頻発・激甚化しており「気候危機」と言うべき極めて深刻な事態となっています。

国においては「産業革命から平均気温上昇の幅を 2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」というパリ協定への合意や IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）等の世界的な温室効果ガス削減の動向を踏まえて、令和 2 年 10 月 26 日の第 203 回臨時国会において、菅内閣総理大臣より「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」との宣言がありました。

四国の中山間に位置する日高村は、県都高知市より 16 キロという隣接した位置にありながら、これまで仁淀川をはじめとする自然豊かな環境と共生する形で暮らしを培ってきました。

しかしながら、地球温暖化の影響は日高村も例外ではなく、平成 26 年の 12 号台風による豪雨により床上床下浸水の被害も発生しており、浸水被害を防ぐための治水対策を講じています。

村においては、第 6 次日高村総合振興計画に掲げる、地球温暖化対策の推進や新エネルギー施策の推進を実現する為、令和 4 年 1 月に日高村地域再エネ導入戦略を策定しました。また、持続可能な村づくりや豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、戦略にあるロードマップやスケジュールに沿って着実に実行し、太陽光発電などの再生可能なエネルギー等を最大限に活用します。

日高村は脱炭素社会の実現、2050 年二酸化炭素排出実質ゼロを達成するため、村民や事業者等と共に「日高村 2050 ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和 4 年 3 月 3 日

日高村長 戸 振 真 幸